窒素　（略）

粗脂肪　47.0～85.0％

粗繊維～試料溶液の調製　（略）

(ｲ)　製造の方法の基準

*Streptomyces albus*のサリノマイシン生産菌株を好気的に培養し、培養を終了した後、必要に応じてろ過助剤を用い、固形分をろ取する。この固形分を乾燥し、乾燥した固形分の質量の12％以内の割合でケイ酸、軽質無水ケイ酸又は無水ケイ酸を加え、粉砕・混和して製造すること。

(ｳ)・(ｴ)　（略）

(113)～(115)　（略）

（削る）

窒素　（略）

粗脂肪　50.0～85.0％

粗繊維～試料溶液の調製　（略）

(ｲ)　製造の方法の基準

*Streptomyces albus*のサリノマイシン生産菌株を好気的に培養し、培養を終了した後、必要に応じてろ過助剤を用い、固形分をろ取する。この固形分を乾燥し、乾燥した固形分の質量の３％以内の割合で軽質無水ケイ酸を加え、粉砕・混和して製造すること。

(ｳ)・(ｴ)　（略）

(113)～(115)　（略）

(116)　バージニアマイシン

ア　製造用原体

(ｱ)　成分規格

力価　本品は、力価試験を行うとき、１㎎中に1,020μg（力価）以上を含む。

物理的・化学的性質

①　本品は、淡黄色の粉末で、特異な臭いを有する。

②　本品は、クロロホルムに溶けやすく、エタノール及びメタノールにやや溶けやすく、水に極めて溶けにくい。

確認試験　本品10㎎（9.5～10.4㎎）を量り、イソプロパノール10mLを加え、必要ならば、60～70℃で５～10分間加温して溶かし、この溶液１mLにイソプロパノール３mLを加え、さらに、希塩酸２mL及びρ－ジメチルアミノベンズアルデヒドのイソプロパノール溶液（１→100）３mLを加え、70℃で15分間加温するとき、溶液は、赤橙色を呈する。

純度試験

①　pH　本品の水懸濁液（１→1,000）のpHは、4.0～7.0でなければならない。

②　重金属　本品1.0ｇ（0.95～1.04ｇ）を量り、重金属試験法第２法により試料溶液を調製し、鉛標準液2.0mLを用いて比較液を調製して重金属の試験を行うとき、試料溶液の呈する色は、比較液の呈する色より濃くてはならない(20μg／ｇ以下)。

③　ヒ素　本品0.40ｇ（0.395～0.404ｇ）を量り、ヒ素試験法第３法により試料溶液を調製し、装置Ａを用いる方法によりヒ素の試験を行うとき、吸収液の色は、標準色より濃くてはならない（５μg／ｇ以下)。

乾燥減量　3.0％以下（１ｇ，0.67kPa以下，60℃，３時間）

強熱残分　1.0％以下（１ｇ）

力価試験

寒天平板　基層用培地及び種層用培地は、それぞれ４号培地を用いる。

試験菌　*Micrococcus luteus* ATCC 9341を用いる。